

諮 問 映 画

映 画 名	ヒトラーVS.ピカソ 奪われた名画のゆくえ
制 作 者 等	3D Produzioni and Nexo Digital
内 容	<p>本作品は、ヒトラーをはじめとするナチス・ドイツがヨーロッパ各地で行った美術品略奪の背景や現代に至るまでのその影響を描いたドキュメンタリーである。</p> <p>ナチス・ドイツが自らの意に沿わないピカソ等の作品を「退廃芸術」の烙印を押し貶めた事実や、個人や美術館から美術品を大量略奪し、現在でも数多くの作品が行方不明となっている事実の描写から、武力による弾圧とは別の戦争の歴史的側面を知ることができ、青少年が知識を身につけ、教養を深めていくことが期待できる。</p>
推 奨	<p>また、権力による人種差別から生じたユダヤ人の悲劇や、美術品略奪は財産の剥奪であるだけでなく文化の破壊であるという内容を通して、青少年の思考力や批判力を養うことが期待できる。</p>
理 由	<p>本作品は、条例施行規則第二条の優良図書類等の推奨基準</p> <p>第二号 青少年が知識を身につけ、教養を深めていくことに役立つものであること。 第五号 青少年の思考力、批判力又は観察力を養うものであること。</p> <p>に該当し、主として高校生に有益と認める。</p>